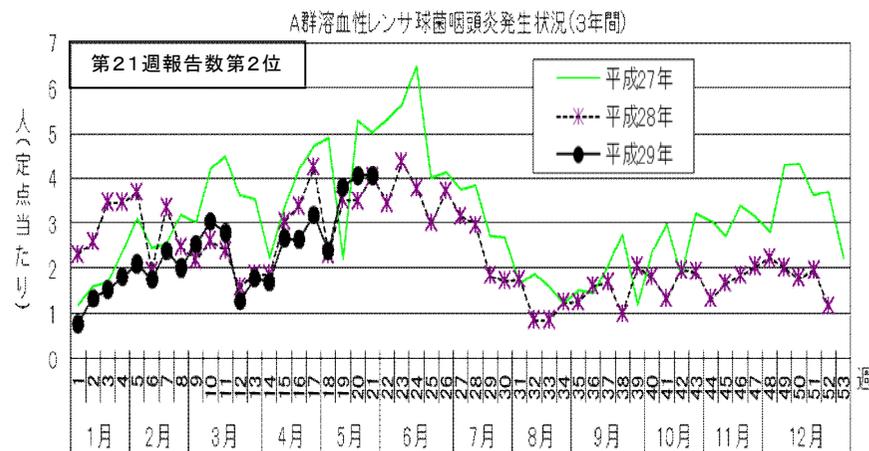
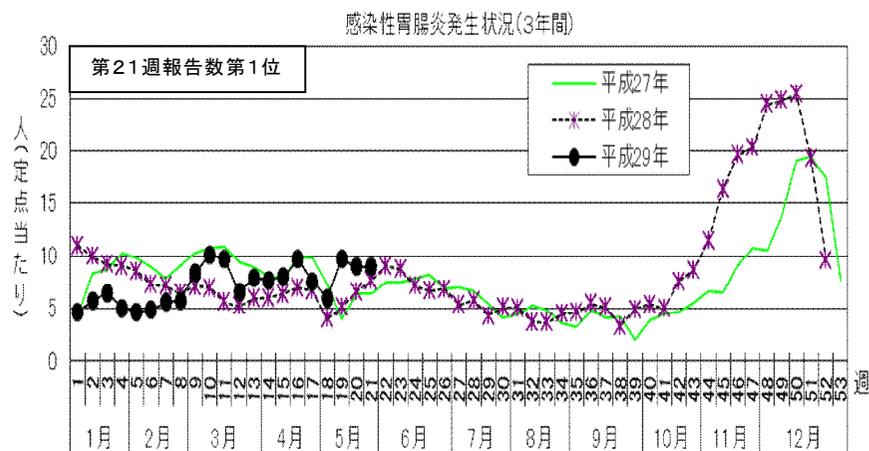


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年5月22日（月）～平成29年5月28日（日）〔平成29年第21週〕の感染症発生状況

第21週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.94人と前週（8.97人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.06人と前週（4.06人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.11人と前週（2.67人）から減少し、例年より高いレベルで推移しています。



気をつけたい感染症～水痘（みずぼうそう）～

水痘は、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の感染症です。我が国では、平成26年10月1日から水痘ワクチンが定期接種化され、川崎市においても全国と同様、患者報告数は減少しましたが、ワクチン接種対象外の方の報告数が少しずつ増加しています。水痘はワクチン接種により防ぐことが可能ですので、特に定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

水痘とは？

- 【感染経路】 空気感染、飛沫感染、接触感染
- 【潜伏期間】 2週間程度（10～21日）
- 【症状】 発疹、38度前後の発熱、かゆみ等。通常、発疹は紅斑（皮膚表面が赤くなること）、水疱、膿疱（粘度のある液体が含まれる）を経て痂皮（かさぶた）化します。一般的には軽症ですが、免疫機能が低下している方は重症化するので注意が必要です。

水痘ワクチンの定期予防接種について

- 【対象者】 生後12月から生後36月に至るまでの間にある方
- 【回数等】 2回接種（標準的には1回目を接種し、6月から12月までの間隔をおいて2回目を接種します。）

